

福富町西公園基本構想策定調査

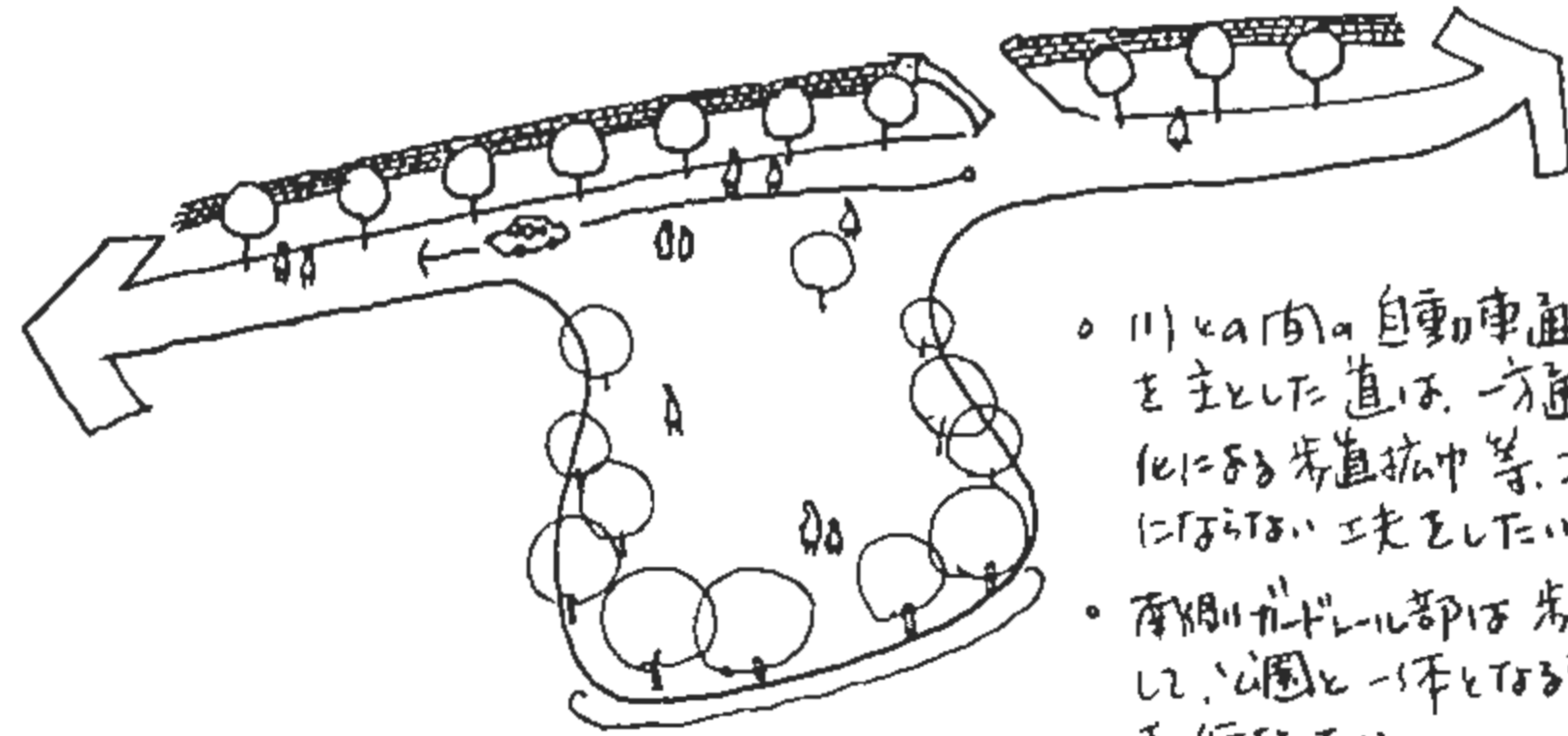
1986.03

横浜市下水道局・緑政局
中部公園緑地事務所
山手総合計画研究所

■ 福富町西公園に盛り込みたい要素として次の8つの企画テーマを提案します。
これらをどう構成し、魅力的な公園にするかには更にいくつかの方法が考えられるでしょう。

● 大淵川沿いのプロムナードと一体とした風景をつくらう。

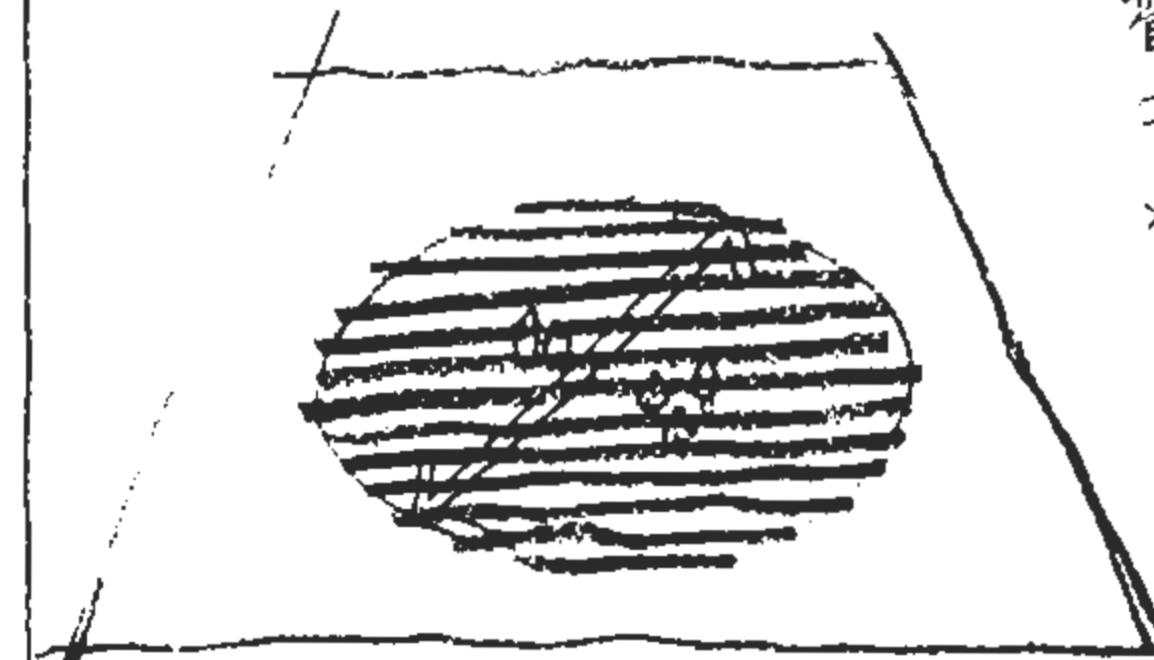
プロムナードと歩道に休む場所を提供し、公園に遊ぶ人々に
河川の景観を楽しませる。親水性の高い環境を生かそう。



- 川を渡る自動車通過を主とした道は、一方通行化による歩道拡中等、エッジに当たる工夫をしよう。
- 河川がテラス部分は歩道化し、公園と一体となる整備を行いたい。

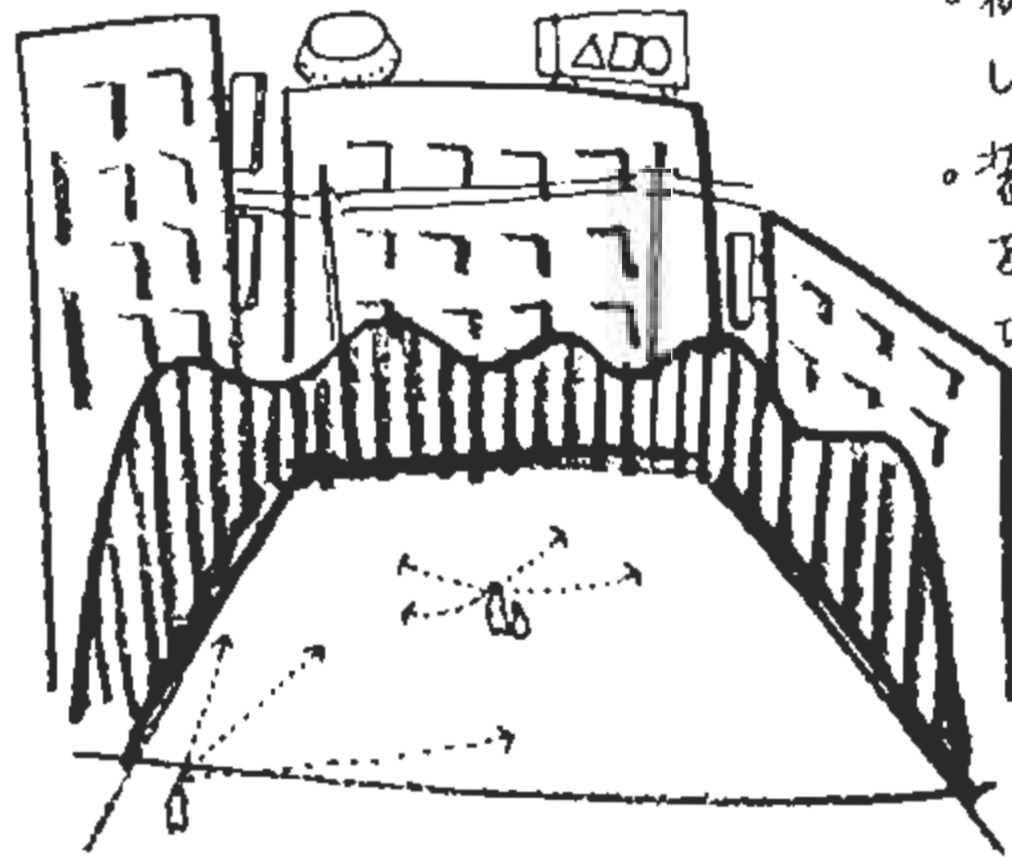
● 駅に近い広場"土"を残そう。

アスファルトに固められた都市の中で、緑地への意味は大きい。
土の味、木陰の味を持つ多様な意義を考案しよう。



管理面から計画を想定して
この公園の役割を考案する。
また、土の味を残すことで
デザイン上の工夫を考案する。

● 公園の要素を優先順位に落とし込んだ風景をつくらう。

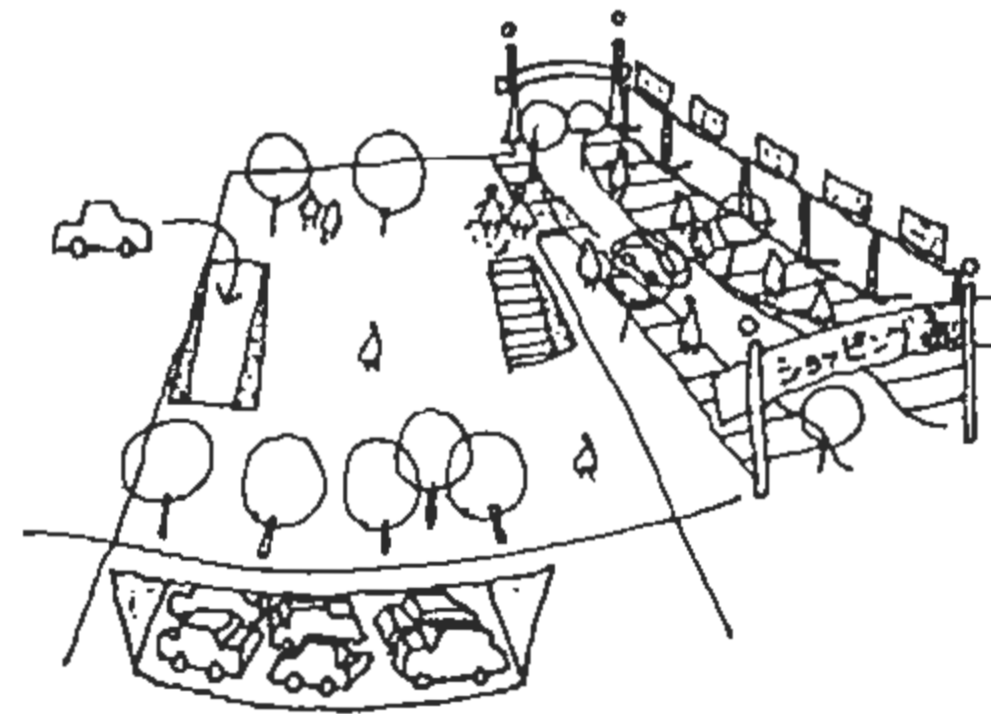


- 樹木や装置で背景を整理し、つくりこんだ工夫が必要。
- 装置のあるエリア、その周辺を美しく保つこと。固められた場所(河川無心場等)を計画しよう。

○ 周辺の建物にも
協力をお願いしたい。

● 地域の課題、手配りに関する公園づくりをしよう。

地域の都市活動、景観整備の一助として地下鉄駅場を考案。
駅、バス停の次の活動環境として、パークデックを計画する。



エドムバの多くの中小
広場が地下パークに
改造されている。
ここでは、歩道帯と収容
台数のバリエーションから
車站を考案し、機軸式と
して考案する。

● 幼児、子供達の為の“三種の神器”も揃えよう。

ブランコ、砂場、おしゃし台……昔中の福富西公園には、野毛方面の若い母親と子供達が集まる。周辺地区の建物の建て直し、高度化と共に都心集住を希望する若い世帯が増えると、

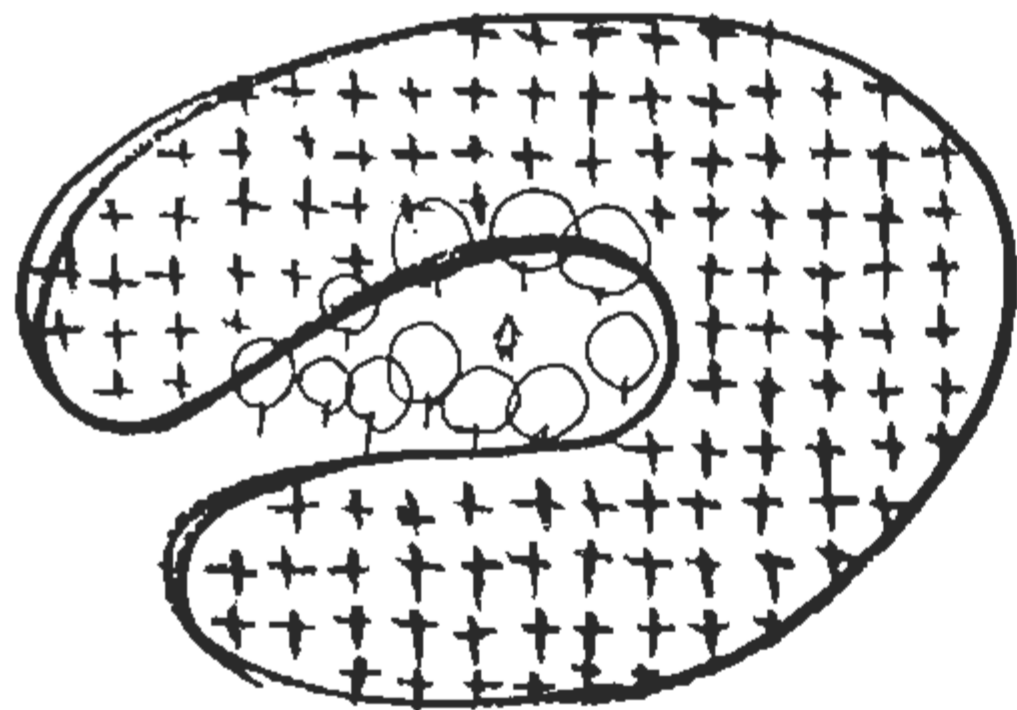
この公園の日常的な利用の形態はますます増えるに違いない。



逆に、こうした環境整備を先行せざるに、野毛方面とつながる地域に若い人口を呼び込めるように力を合わせる必要がある。

● 都市空間の隙間憩いの場として 緑陰をつくらう。

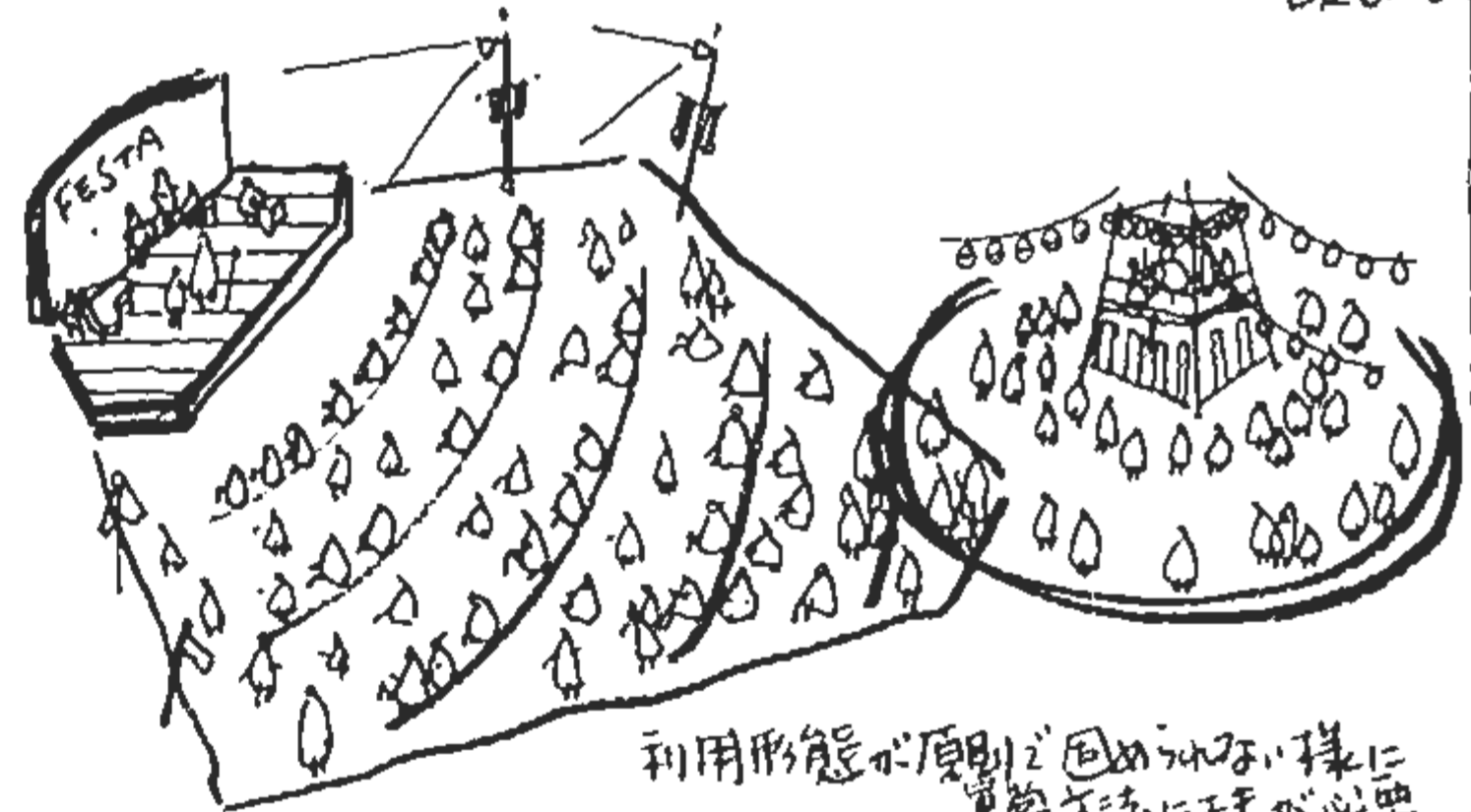
福富町の高度化、密集した建物群の中で働く人々にとって身近かに憩う場所が用意される必要がある。



福富町のまちづくりの中で生かされたこの公園に託して当初の役割は地区の発展、高度化と共にますます増大していく。

● 多層の人々が集う機会と場を地区につくらう。

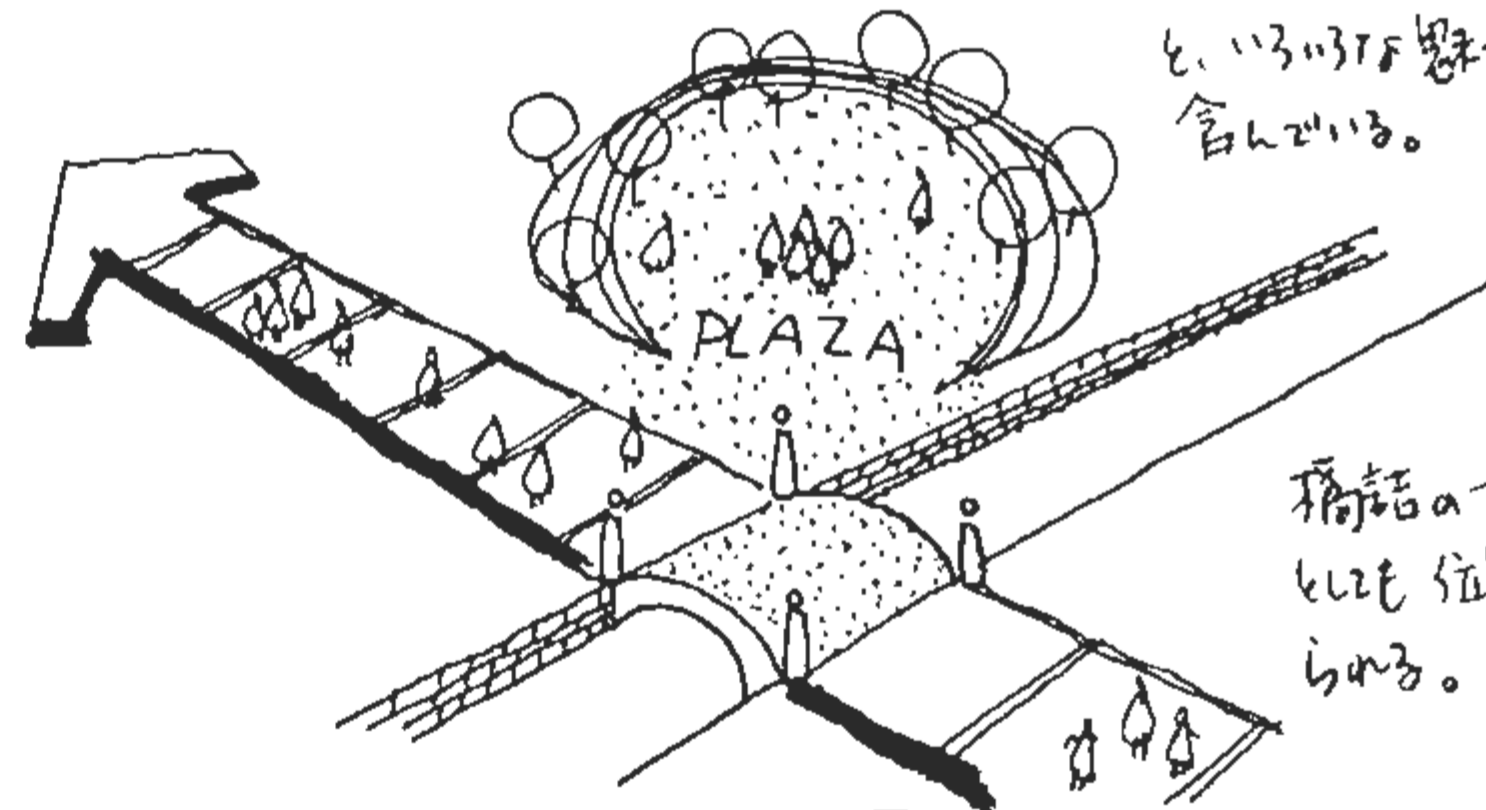
お祭り、モーターフェス、バスケ等、地区活動に活気を与える装置が欲しい。



● 都橋の地理的、歴史的ロケーションを一体に考えよう。

南河原駅から野毛山へ向かうショッピングモールの焦点である都橋は、水、緑、歴史、親柱のモニュメント、橋脚のふしみに

いろいろな魅力要素を含まれている。



橋脚のフタがこれ位置が決まる。